

新旧対照表（基本構想）

■新：令和3年度第2回（最新版）P1

■旧：令和3年度第6回 該当ページなし

■変更点と理由

1

基本構想

1 まちづくりの考え方

暮らしの豊かさの向上

持続可能なまちづくりを進めていくためには、このまちで暮らす人が豊かさを実感し、このまちでの暮らしを続けたいと思うことが必要です。

「暮らす」にはいろいろな形があります。

このまちに 住んでいる 育まれている
このまちで 子育てをしている、学んでいる、働いている、活躍している・・・

このまちで暮らす人にとって
このまちでの暮らしが、今よりもっと豊かになるように

まちづくりを進めるにあたってはこの考え方を基本として、第6次犬山市総合計画を定めます。

1

1

①
第6回審議会で直接出たわけではありませんが、全体を聞いていて、この計画を作成して何を狙っているのかが伝えられていないと感じました。課題等を整理して、基本目標等を整理しましたが、その根本、前提となる部分を記載することとしました。

基本構想

3 まちづくりの基本目標

1 将来像の実現に向けて、序論で整理した5つの主要課題①～④に取り組むため、3つの基本目標を掲げます。

2 ◆基本目標1 誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまちへ
このまちに住む。このまちで子育てをする、学ぶ、遊ぶ、活動する、参加する。そうした日々の暮らしの豊かさの向上に取り組みます。

3 歴史、文化、自然などの魅力が豊富な犬山市で、子どもたちがスクスクと育まれていくまち。「学びたい」「楽しみたい」「活動したい」といった暮らしの希望が実現し、多様な人たちが、このまちで成長しながらイキイキと健やかに暮らすことができるまちを目指します。

4

5 ◆基本目標2 産業が栄えるまちへ
事業者の積極的な取組みによって、市内の農業や商業、工業、観光に活気があるまち。新たな企業進出や商業系店舗の出店、起業・創業、事業者による様々な連携によって、産業がますます発展するまちを目指します。

6 7

そして、産業の発展が、市民にとっての働く場、買い物や食事を楽しむ場として暮らしに豊かさをもたらすと同時に、犬山市の財政を支え、行政サービスの維持・向上につながるまちを目指します。

8

◆基本目標3 人にも地球にもやさしいまちへ
このまちで暮らす人の生活が安全・安心で快適なものであるように、生活環境や道路や公園などのインフラ施設の充実に取り組みるとともに、「住む場所」の確保に取り組めます。同時に、限りある資源や質の高い自然環境、地球環境を引き継ぐために、環境配慮の取組を促進し、暮らしの豊かさの向上と環境への配慮が共に行っているまちを目指します。

3

基本構想

1

2

3 ◆基本目標1 誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまちへ
子育てを応援するとともに、犬山市の豊富な魅力の中で、『学びたい』、『楽しみたい』、『活躍したい』といった希望が実現し、このまちで成長しながら、イキイキと暮らすことができるまちを目指します。

4

◆基本目標2 産業が栄えるまちへ
事業者の積極的な取組みによって、市内の農業や商業、工業、観光に活気があるまち。新たな企業進出や商業系施設の出店、様々な連携により、産業がますます発展するまち。

5 6 7

そして、産業の発展が、地域の豊かさにつながるまちを目指します。

8

◆基本目標3 人にも地球にもやさしいまちへ
安全・安心で快適な暮らしを提供する、生活環境、生活基盤が充実している一方で、人の暮らしのための利便性と、同じく暮らし環境の記述が乏しい限りある資源を未来へつなぐまちを目指します。

◆効果的・効率的な行財政運営
基本目標を実現するためには、行政の限られた人材、資源、資金、時間を効果的・効率的に活用しなければいけません。
戦略的に行財政運営を進めるとともに、持続可能な財政基盤の確立を図ります。

◆シティプロモーションの実施
まちに魅力があっても知らなければ、選ばれない。犬山市の魅力を知ってもらうことが大切です。そして選択肢に入れてもらい、最後に犬山市を選んでもらう。選ばれるまちとなるため、まちの魅力を発信します。

3

- 1 序論で整理した主要課題との関連を文言で追記しました。
- 2 「1 まちづくりの考え方」にて示した暮らしの豊かさの向上との関係性に触れました。
- 3 第6回審議会にて、①「育まれ」という言葉を使う、②中学生アンケートで多かった歴史・文化という言葉を使う、という意見をいただきました。それを踏まえ、歴史・文化に加え自然を明記するとともに、その中で子どもたちが育まれていく旨を記載しました。
- 4 基本目標1には、健康に関する施策が位置づけられることから、「健やかに」という単語を追記しました。
- 5 より一般的な言葉づかいにするため、「施設」を「店舗」に変更しました。
- 6 基本目標2に位置づけられる商工業に関する施策のうち起業・創業支援が含まれることから、「起業・創業」を追記しました。
- 7 主体を明確にするため「事業者による様々な連携によって」と変更しました。
- 8 「まちづくりの考え方」に伴い、暮らしの豊かさの向上につながる表現をより詳細にしました。

基本構想

3 まちづくりの基本目標

将来像の実現に向けて、序論で整理した5つの主要課題①～④に取り組むため、3つの基本目標を掲げます。

◆基本目標1 誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまちへ

このまちに住む。このまちで子育てをする、学ぶ、遊ぶ、活動する、参加する。そうした日々の暮らしの豊かさの向上に取り組みます。

歴史、文化、自然などの魅力が豊富な犬山市で、子どもたちがスクスクと育まれていくまち。「学ばたい」「楽しみたい」「活動したい」といった暮らしの希望が実現し、多様な人たちが、このまちで暮らしながら、生き生きと暮らすことができるまちを目指します。

◆基本目標2 産業が栄えるまちへ

事業者の積極的な取り組みによって、市内の農業や商業、工業、観光に活気があるまち。新たな企業進出や商業系店舗の出店、起業・創業、事業者による様々な連携によって、産業がますます発展するまちを目指します。

そして、産業の発展が、市民にとっての働く場、買い物や食事を楽しむ場として暮らしに豊かさをもたらすと同時に、犬山市の財政を支え、行政サービスの維持・向上につながるまちを目指します。

◆基本目標3 人にも地球にもやさしいまちへ

このまちで暮らす人の生活が安全・安心で快適なものであるように、生活環境や道路や公園などのインフラ施設の充実に取り組むとともに、「住む場所」の確保に取り組みます。同時に、限りある資源や良質な自然環境、地球環境を引き継ぐために、環境配慮の取組みを促進し、暮らしの豊かさの向上と環境への配慮が共存しているまちを目指します。

基本構想

◆基本目標1 誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまちへ

子育てを応援するとともに、犬山市の豊富な魅力の中で、『学びたい』、『楽しみたい』、『活躍したい』といった希望が実現し、このまちで成長しながら、イキイキと暮らすことができるまちを目指します。

◆基本目標2 産業が栄えるまちへ

事業者の積極的な取り組みによって、市内の農業や商業、工業、観光に活気があるまち。新たな企業進出や商業系施設の出店、様々な連携により、産業がますます発展するまち。

そして、産業の発展が、地域の豊かさにつながるまちを目指します。

◆基本目標3 人にも地球にもやさしいまちへ

安全・安心で快適な暮らしを提供する、生活環境、生活基盤が充実している一方で、人の暮らしのための利便性とその周辺及び地球環境への配慮が共存し、限りある資源を未来へつなぐまちを目指します。

◆効果的・効率的な行財政運営

基本目標を実現するためには、行政の限られた人材、資源、資金、時間を効果的・効率的に活用しなければいけません。

戦略的に行財政運営を進めるとともに、持続可能な財政基盤の確立を図ります。

◆シティプロモーションの実施

まちに魅力があっても知らなければ、選ばれない。犬山市の魅力を知らってもらうことが大切です。そして選択肢に入れてもらい、最後に犬山市を選んでもらう。

選ばれるまちとなるため、まちの魅力を発信します。

① 生活環境・生活基盤と地球環境の両面の意味が付与されていることを明確にするため、第一段落で生活環境・生活基盤について述べ、第二段落で地球環境について述べるように書き分けました。

② 上記①の修正文中に「限りある資源や良質な自然環境、地球環境を引き継ぐために」という一文を入れたため、令和3年度第6回での末文「限りある資源を未来へつなぐ」を削除しました。

基本構想

1 4 計画の実現に向けて

序論で整理した主要課題⑤に取り組むため、また、この計画を実現するために、3つの取り組みを進めます。

2 ◆効果的・効率的な行財政運営

まちの将来像・基本目標を実現するためには、行政の限られた人材、資源、資金、時間を効果的・効率的に活用しなければいけません。**3** **4** そのため、戦略的に行財政運営を進めるとともに、持続可能な財政基盤の確立を図ります。

4 ◆市民の参加と交流、協働の推進

犬山市のまちづくりは、行政だけでなく地域における多様な主体の参加、交流、協働によって進められてきました。

このような地域におけるまちづくり活動が継続できるよう、交流や協働を促進し多様な主体が抱える問題解決につなげるとともに、新たなまちづくりの担い手の確保を図ります。

5 ◆シティプロモーションの実施

犬山市における「暮らしの豊かさ」を情報発信し、「住み続けたいまち」「住んでみたいまち」としての市民が自慢したくなるまちを目指します。

住むまちとしての魅力を市内へ発信し、「住み続けたい」という想いを醸成するとともに、市民による情報発信につなげます。市外へ情報発信し、「住んでみたいまち」という想いを醸成します。

同時に、住むまちとしての魅力の発掘、磨き上げ、創出に取り組み、住むまちとしての魅力向上に取り組みます。

4

基本構想

◆基本目標1 誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまちへ
子育てを応援するとともに、犬山市の豊富な魅力の中で、『学びたい』、『楽しみたい』、『活躍したい』といった希望が実現し、このまちで成長しながら、イキイキと暮らすことができるまちを目指します。

◆基本目標2 誰もが栄えるまちへ
事業者の積極的な取組みによって、市内の農業や商業、工業、観光に活気があるまち。新たな企業進出や商業系施設の出店、様々な連携により、産業がますます発展するまち。

そして、産業の発展が、地域に豊かさを生み出すまちを目指します。

◆基本目標3 人にも地球にもやさしいまちへ
安全・安心で快適な暮らしを提供する、生活環境、生活基盤が充実している一方で、人の暮らしのための利便性とその周辺及び地球環境への配慮が共存し、限りある資源を未来へつなぐまちを目指します。

1 [Redacted]

2 ◆効果的・効率的な行財政運営

基本目標を実現するためには、行政の限られた人材、資源、資金、時間を効果的・

3 効率的に活用しなければいけません。

4 [Redacted]

5 ◆シティプロモーションの実施

まちに魅力があっても知らなければ、選ばれない。犬山市の魅力を知ってもらうことが大切です。そして選択肢に入れてもらい、最後に犬山市を選んでもらう。

選ばれるまちとなるため、まちの魅力を発信します。

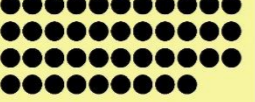
3

- 1** 基本目標と区別するために新たに項を設けました。また、序論で整理した主要課題との関連を文言で追記しました。
- 2** 「効果的・効率的な行財政運営」は、基本目標だけでなく、まちの将来像の実現のためにも必要であることから、「まちの将来像」を追記しました。
- 3** 読みやすくするため、接続詞を追記しました。
- 4** 第6回審議会にて、犬山市が協働をコンセプトに掲げていることから、参加・協働を目指す旨を書き添えてはどうかという意見をいただきました。それを踏まえ再考し、「市民の参加と交流、協働の推進」も計画を実現するための取組みとして位置づけました。
- 5** 第6回審議会にて、シティプロモーションについて、いろいろとご意見をいただきました。（いただいた意見については、参考資料3をご覧ください。）それらを踏まえ、文章を再編するとともに、シティプロモーションについても、計画を実現するための取組みとして位置づけることとしました。

基本構想

5 施策体系

基本構想

	まちづくりの考え方	まちの将来像	基本目標
目指すまちの姿	暮らしの豊かさの向上		誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまちへ
		産業が栄えるまちへ	産業が栄えるまちへ
		人にも地球にもやさしいまちへ	人にも地球にもやさしいまちへ

実現に向けて

効果的・効率的な行財政運営
市民の参加と交流、協働の推進
シティプロモーション

5

基本構想

2 まちづくりの基本目標

まちづくりのイメージ

イメージ図は今後変更する可能性があります。



3つの基本目標の実現に向けて、様々な主体が協働して取り組みます。

みんなで作る犬山市の魅力を照らして、犬山市内外の人に犬山を「知ってもらう」、「選んでもらう」ためにシティプロモーションに取り組みます。

2

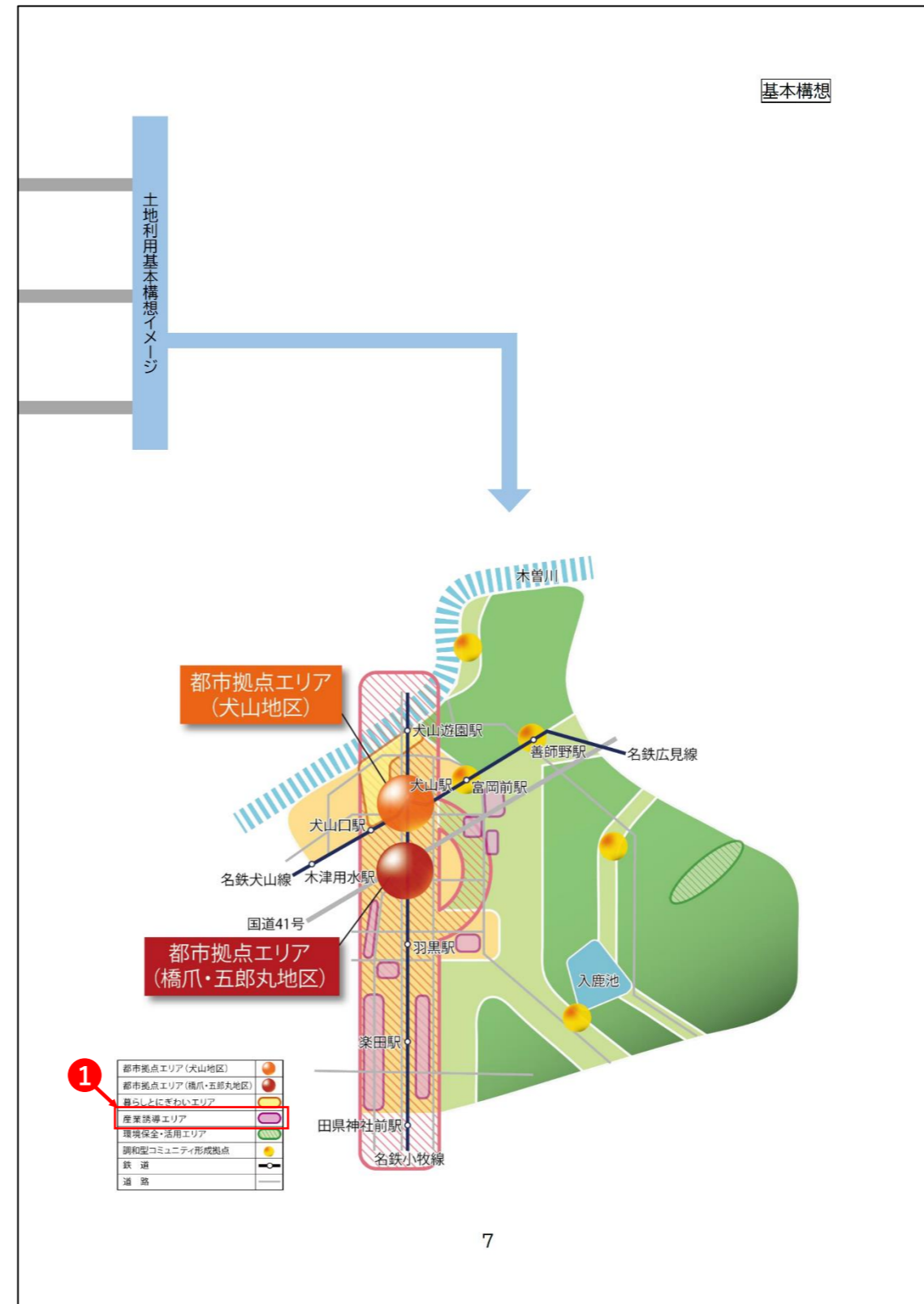
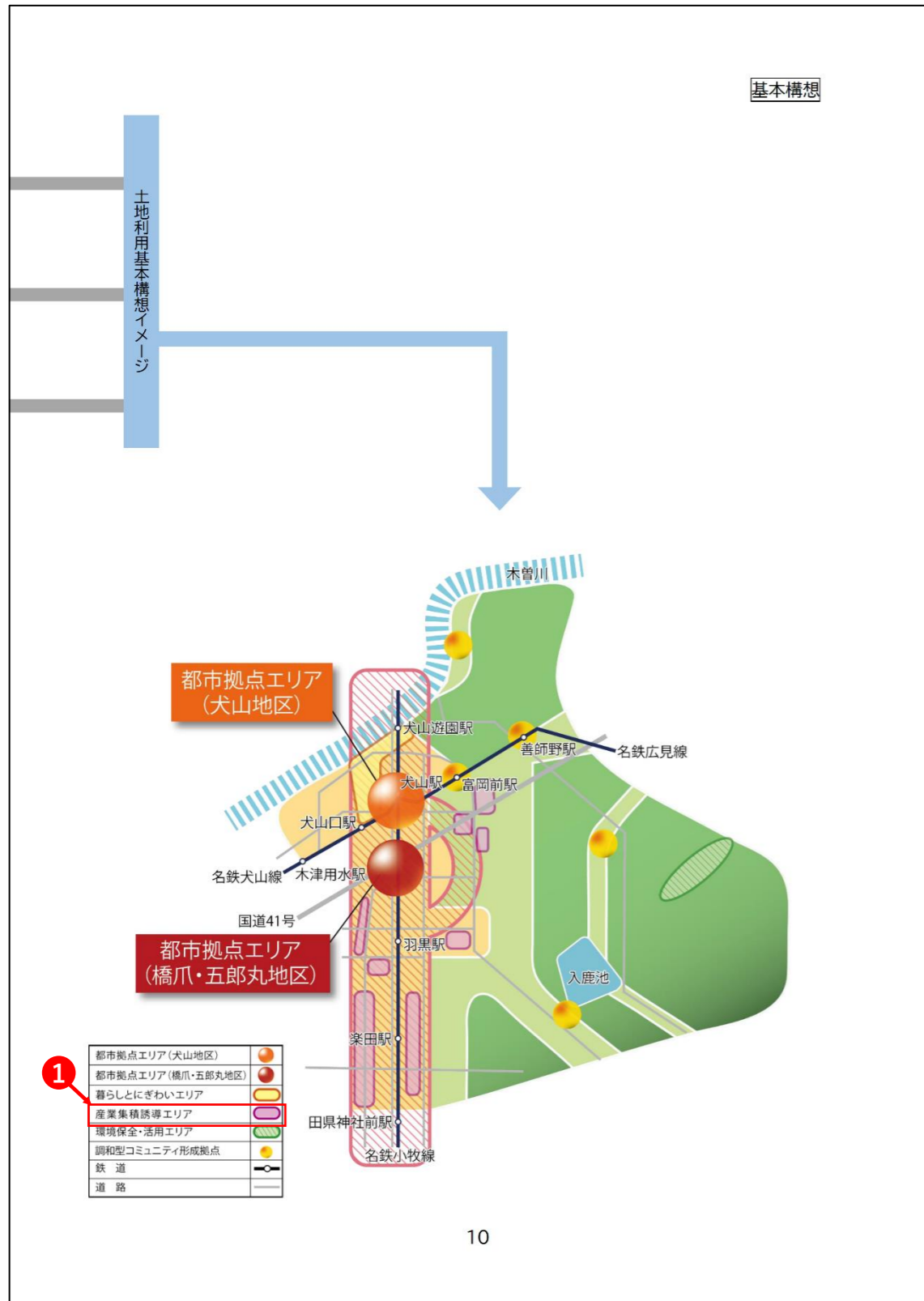
① 第6回審議会にて、まちづくりのイメージ図について、ご意見をいただきました。そのときに考えていた基本目標や行財政、シティプロモーションの関係を分かりやすく表現するために作成したつもりでしたが、むしろ分かりにくくしてしまったと反省しています。そこで、基本計画（案）とともに体系図というシンプルな形で表現することとしました。

1

基本計画	
施策の名称	施策の目指す姿
子育て	出産や子育ての希望が実現できるまち
教育	犬山ならではの教育の中で子どもが成長できるまち
生涯学習	子どもから大人まで、誰もが楽しく学び活躍できるまち
歴史・文化財	暮らしのなかで歴史・文化財の魅力にふれることができるまち
健康	いつまでも健やかに暮らすことができるまち
福祉	年齢や障害などにかかわらず、イキイキと暮らすことができるまち
多様性	多様な価値観や個性を認め合うまち
農業	安心して農業を続けることができるまち
商工業	魅力ある商工業が栄え、地域ににぎわいを創出するまち
観光	犬山らしさを磨き、ずっといたくなる、みんなでつくる・みんなのための観光
住環境・インフラ	誰にとっても快適で暮らしやすいまち
防災・減災	災害への備えと対策ができていくまち
防犯・交通安全	地域とともに防犯・交通安全対策に取り組んでいるまち
医療・救急・救助	急病や事故にしっかり対応できるまち
低炭素・循環型・自然共生	地球環境に配慮しているまち
	
行財政運営	効果的で効率的な行財政運営をしているまち
市民参画と交流、協働	多様な主体が交流、参加できる協働のまち
シティプロモーション	住んで良かったと自慢できるまち

1

前頁1に同じ



1
文章に合わせて凡例の名称を修正しました。